



## 菱実会賞

機能物質化学科・平成25年入学 音谷 隼平

第1回菱実会賞を音谷隼平氏の「自身の幅広い関心とソーシャルスキル向上を促す社会貢献活動及びNPO法人の運営」に平成28年11月17日(木)の理工学部同窓会選考会議において決定した。

会長以下理事の出席のもと穂屋下会長より賞状並びに副賞が授与された。今回の受賞理由は同氏の学業ばかりではなく地域貢献活動に対する努力が評価されたものである。

菱実会賞は佐賀大学理工学部の学生（科目等履修生、特別聴講学生、研究生及び特別研究学生を除く。）で同窓会会費を納入した学生を対象に、社会活動、課外活動、学術研究活動等において、成果や評価が顕著であると認められ場合に授与される。



**菱実会賞受賞者謝辞** 第1回本賞受賞者音谷氏より謝辞が寄せられましたのでここに紹介します。

この度は菱実会賞にご選出いただきありがとうございます。菱実会会長の穂屋下茂様をはじめ、理工学部同窓会の皆様には厚くお礼申し上げます。また、推薦状を書くにあたって、ご指導いただいた富永先生にも感謝申し上げます。

大学入学以来行ってきたボランティア活動という、小さなことの積み重ねを評価していただいたことをとても嬉しく思います。その活動だけでは社会に対する貢献度は微々たるものかもしれませんが、私自身大きく成長させていただいたと感じております。このような活動ができたのはNPO法人佐賀大学スーパーネット理事長である佐藤先生や、共に活動して下さった皆様のお力添えがあったおかげです。これからも社会に貢献する心と、自身のスキル向上を目標に精進してまいります。

理工学部 機能物質化学科 4年 音谷 隼平

# 良き日々を思い出しながら新しいページを！

菱実会会長 穂屋下 茂

この4月1日から理工学部同窓会（菱実会）会長を務めております、昭和45年入学の穂屋下です。よろしくお願ひ致します。

新制佐賀大学が1949年（昭和24年）に発足し、理工学部の前身となる文理学部が設立されました。その文理学部は1966年に改組され、経済学部と理工学部が設置されました。そして、2016年（平成28年）、理工学部は創立50周年を迎えました。理工学部同窓会は諸事情があり、1999年8月に発足しました。理工学部同窓会は30周年記念誌に続き、理工学部創立50周年記念事業として『理工学部50周年記念誌～歩みと想いⅡ～』を刊行しました。

ところで、昔々の話をちょっとだけ。私が入学したとき、いきなり武雄の御船山観光ホテルで豪華なオリエンテーションがありました。多分、入学者全員参加だったと思います。もちろん、参加費の徴収はありませんでした。大学ってなんて太っ腹で楽しい所だろうという実感は今も残っています。一方、機械工学科のオリエンテーションは理工学部1号館南棟の屋上でした。高田先生が挨拶して直ぐ終わったかな。南側は一面が田んぼの跡で、稲の切り株が点在する中に、理工学部2号館のパイル打ちが始まっていました。さらに、その南側には新しい道路（南部バイパス）工事が始まっていました。また、大学が出来て間もないせいか、教員も少なかったこともあり、授業（講義）はほとんど午前中のみで、休講も多く、時間をもてあそぶのも結構大変でした。というのが、学生時代の記憶です（最近の学生さんはかわいそうですね）。

先日11月12日(土)の佐賀大学同窓会東京支部で、同世代の理工学部卒業の人たちが比較的多く集まっていました。その時撮った写真を掲載します。久々に昔の佐賀大学と最近のきれいになった正門及び美術館の話題で沸騰し、とても楽しい一時を過ごすことができました。有難うございました。

これから佐賀大学同窓会支部会は活発化していくと思います。先輩・後輩の皆様、同窓会支部会の際には是非参加してみましょ。学生時代を振り返ることにより、新しい人生のページが拓けることもあると思います。是非、近くで開催される支部会・地区会に参加してみて下さい。私も時間が許す限り、出かけていきますので、一緒に新しい人生のページの開拓に挑戦してみましょ。



東京支部で集まった理工学部卒業生と共に



特集

# 私たちががんばっています

今回は理工学部出身の各学科の先生方をお願いして同窓生の中から推薦をいただき、各方面での活躍の様子を投稿いただきました。

みなさまの活動への刺激や新たな交流の機会となれば幸いです。

## 私と橋

宮地エンジニアリング株式会社 技術部 設計グループ  
三吉 隆博  
(工学系研究科 都市工学専攻・H25年修了)

私は宮地エンジニアリングという橋の設計・製作・架設を行っている会社に勤めています。橋を専門に扱う会社が少ないため、なぜ橋の会社に就職したのかと聞かれることがよくあります。

私は中学生の頃から高いビルや大きな構造物等、どのようにして建てるのか疑問に思っていました。橋もその中の一つで、あんなにも大きな橋をどうすれば架けられるのかと少ない知識の中で色々と考えていたこともありました。疑問はいつしか興味に変わり、大学では建物に関わる勉強がしたいと思い佐賀大学に入学を決めました。大学で建物に関する様々なことを学んだ中で、橋には、アーチ橋やトラス橋、吊り橋といった様々な形式があり、その形一つ



つに意味があることを知ることが出来たとき橋の会社に就職してより深く橋のことを知りたいと思ったことが、私が橋の会社に就職したきっかけです。

入社2年目に「沖端川大橋」という橋の製作・架設の設計担当者として工事に関わりました。工事場所は福岡県柳川市周辺で有明沿岸道路に関わる橋で、佐賀大学からも1時間程度の距離と近く、大学とは縁があるなと思いました。また、2年目に大きな工事の設計担当を任されたことから熱心に取り組んだことを今でも覚えています。その中で色々失敗もしましたが、たくさんの人に助けて頂き無事に橋を架けることができたとき、橋とは多くの技術者の手で架けられていることを改めて思いました。私もひとりの技術者として、これからも多くの橋梁の支えになっていきたいです。



## 研究者から技術者へ

株式会社 GSユアサ (株式会社ブルーエナジー出向)  
**古谷 泰幸**  
(工学系研究科 循環物質化学専攻・H26年修了)

現在、私はGSユアサからの出向社員として、電池メーカーであるGSユアサと自動車メーカーである本田技研工業の合併会社である、ブルーエナジーに勤務しています。当社は、ハイブリッド自動車用のリチウムイオン電池の開発・製造会社であり、当社製品は、VezelやNSXといったHondaのハイブリッド自動車に搭載されています。

私は技術開発部所属で、要素設計チームにて新商品開発を行っており、特に安全設計を担当しています。昨今ニュースでも取り扱われているように、リチウムイオン電池は取扱いを間違えれば、大事故に至る可能性があります。顧客の要求性能を満足させ、かつ世に出ても安全性を担保できる技術を開発し、電池にフィードバックさせることが私の仕事です。最近のトレンドとして、高容量化・高出力化といった性

能向上の傾向にあります。性能と安全性はトレードオフの関係があります。両者をバランスよく設計していくことが難しさでもあり、やりがいでもあります。

社会人になり3年目ですが、電池に関する視野が広がり、新たな考えを持つようになりました。商品を量産するにあたり、バラつきを考慮すること、現場が製造しやすい製品を設計すること、5ゲン主義に基づき仕事を行うことです。これは、学生時代の研究では意識しなかった概念であり、研究者と技術者の違いだと思います。

今後、電池技術者として、自らが設計した電池を世の中にリリースすることを目標に、日々の業務を精進していきます。また、スキルアップとして技術士(経営工学)の資格を取得したいと考えています。



写真は、Hondaからの出向役員である四本副社長との1枚です

## 世界最大の鉄鋳物サプライヤー

日立金属株式会社 真岡工場 技術開発グループ  
**執行 正和**  
(工学系研究科 電気電子工学専攻・H24年修了)

私が勤める日立金属株式会社では多岐に渡る製品(特殊鋼、自動車鋳物、磁石、電線等)を国内外のお客様に供給しています。

その中でも私が所属する部署では、自動車用足回り部品の設計開発を行っています。

私の主な業務は3DCADを用いた自動車部品のモデリング、設計した部品のCAEによる解析評価です。

お客様から求められる強度を満たし、いかに軽量化するかが求められます。製品を用いた強度試験にて安全上問題ないか確認しますが、足回り部品の故障は人命に関わるため、大変責任ある仕事だと感じています。大学時代に学んだ知識を活かす機会はありませんが、原理原則に基づき、課題に取り組む姿勢は同じだと考えています。

弊社は持続的な発展の実現に向け、海外展開にも

力をいれています。海外支社とテレビ会議を行ったりと、現地スタッフとコミュニケーションを取る機会が多々あります。英語はあまり得意ではありませんが、上手くコミュニケーションが取れるように、専門知識と合わせてこれからも英語の勉強を続けたいと思います。

佐賀大学のOB・OGの中には、自動車メーカーで働かれている方がおられますので、一緒に仕事をする機会があるかもしれません。その際は何卒よろしくお願い致します。



## 学生の技術と心を育てる

有明工業高等専門学校 一般教育科  
嘉藤 直子 (旧姓：山崎)

(工学系研究科 博士後期課程 システム生産科学専攻・H13年修了)

有明工業高等専門学校(有明高専)の教員として就職してから、もう20年が過ぎました。着任当初は電子情報工学科に所属していましたが、4年前に一般教育科に移動し、現在は情報リテラシーと数学の授業を担当しています。研究面では、佐賀大学の博士課程に社会人入学して学位を取得したり、現在も共同研究をさせていただいたり、佐賀大学理工学部の皆様には大変お世話になっております。

有明高専は、高度な実践的技術者を養成する学校です。中学卒業したばかりの学生から22歳までの学生が在籍しています。その中で私は、学生に授業をするだけでなく、悩みのある学生の相談を受けるといった仕事もしています。この学生相談員の仕事は10年以上担当しており、毎年、年間約200件(のべ件数)の相談を受けています。学生たちが思春期・青年期

にあたる年齢のため、相談は多種多様です。友人関係、恋愛、学業、進路、性格・体質、ネットトラブルなど難しい問題も多いです。実際のところ、学生相談に時間を取られ、授業の準備や研究ができなくて大変な時もあります。しかし、学生の悩みや辛さに寄り添い、一緒に考え、笑顔を取り戻すためのお手伝いをさせていただくことは、私の教員としての生きがいになっています。学生たちの悩みが軽くなり、技術者のタマゴとして学業・実習に集中して取り組めるように、これからも教員&学生相談員として頑張っていきたいと思っています。



## 佐賀大学を卒業して得たもの

株式会社ソフトウェアクレイドル  
川口 裕紀

(工学系研究科 数理科学専攻・H28年修了)

私は佐賀大学を卒業し、ソフトウェア会社に入社しました。研修は終了し、営業部の一員として勤務しております。ソフトウェアクレイドルという会社は、熱流体シミュレーションソフトの開発及び販売をしており、日本でも屈指のソフトウェアベンダーでございます。

なぜ、数理科学科の私がこのような会社に、しかも営業部でやっていこうと思ったのかと言いますと、一番の理由に、数理科学科で得た知識を活かして、新しいことにチャレンジし、仕事に勤めたいと思ったからです。

実際にこちらの会社に入社してからは、数理科学科で学んだ「数値計算」や「偏微分方程式」や「流体力学」はとても役に立っており、いろいろな業種のお客様と商談し、とても有意義な毎日を送っております。ところで、入社して7か月が過ぎた今、具体的にど

んな業務を行っているかと言いますと、主に新規開拓や外回りの営業などを行っております。

今でこそ、いろいろな業務をこなせておりますが、入社当初は困難の連続でした。

まず、ソフトを扱えるようになるために四六時中ソフトを使用しなければなりませんでしたが、営業として、お客様にどう対応していけばいいのかも分かりませんでした。

大事なことは「失敗したときになぜ失敗したのかを考えること」「同じ失敗をしないこと」であり、今ではようやく営業として板に付いてきたところでございます。

また、私生活では、近隣のバドミントンクラブに所属したり、今の季節は京都に紅葉を見に行ったり、休日の朝はコーヒーを飲みながら勉強したりと、とても充実した生活を送っております。

最後に、数理科学科の教授の皆様、及び、長年お世話になった梶木屋教授より数々のご指導、ご鞭撻を賜りましたこと、ここに厚く御礼申し上げます。





## 理工学部と理工学部同窓会との意見交換会

理工学部より学部長以下3名の副学部長および各学科長さらに事務長を加え、計10名の参加をいただき理工学部同窓会より穂屋下会長以下8名が参加し、12月7日に意見交換会と懇親会を開催した。

理工学部長から文科省・財務省からの要求に従っての学部改組にご苦労されていることや50周年記念事業に対する同窓会の協力に対する謝辞があった。各学科長から学科における学生の就職指導の様子や同窓会への要望についての話があった。同窓会長からは各学科における卒業関連の式または懇親会において同窓会からの情報提供の機会をいただけるよう申し入れた。

学部長から各学科の卒業証書授与式後に機会を提供いただけるとの回答を得た。卒業時に同窓会の活動を学生諸子に説明しておくことにより、若い卒業生の同窓会活動への参加を促すことが目的である。



意見交換会（同窓会側）



意見交換会（理工学部側）



懇親会

# 事業計画

1. 会報の発行及び送付
  - \* 佐賀大学同窓会会報（1月、7月）……………年2回送付
  - \* 理工学部同窓会会報「菱の実」（1月）……………年1回
2. 会員の拡大
  - \* 会費徴収（有効期限年とその前後に期限切れの同窓生に徴収実施）
3. 同窓会名簿の発行及び管理
  - \* 2016年版発刊
  - \* 理工学部同窓会員名簿の管理と更新
4. 同窓会支部活動
  - \* 佐賀大学同窓会支部・地区会活動
  - \* 理工学部同窓会支部活動強化（各学科でのホームカミング等含む）
  - \* その他
5. 在学生援助活動
  - \* 理工学部キャリアデザインセミナー実施
  - \* 理工学部在学生表彰支援
  - \* 菱実会賞実施
  - \* 「キャリアデザイン」講座支援
  - \* その他
    - ・佐賀大学生就職先検索システム構築
    - ・学位授与式後の各学科での祝賀会出席
6. 各種情報の提供
  - \* ホームページの充実（技術・研究など、同窓生に有用な情報の提供）
  - \* その他
7. 佐賀大学及び他学部同窓会との連携
  - \* 佐賀大学と佐賀大学同窓会との懇談会
  - \* 理工学部と理工学部同窓会との懇談会
  - \* 佐賀県青春寮歌祭参加
  - \* その他
8. その他の事業
  - \* 卒業生への援助佐賀大学同窓会賞（平成27年制定）  
各同窓会より1名又は1団体へ副賞1件2万円程度の記念品授与

## 役員名簿 （敬称略）

会長	穂屋下 茂（機械S45入）
副会長(会報発行)	中 島 道 夫（化学S43入）
副会長(支部強化)	島 公二武（機械S46入）
理事(支部強化)	宮 地 幸 夫（工化S46入）
理事(支部強化)	山 口 智 啓（生機S48入）
理事(学生支援)	池 上 康 之（生機S57入）
理事(庶務)	津 留 保 生（電気S61入）
理事(庶務)	高 崎 光 浩（化学S56入）
理事(情報管理)	米 満 潔（化学S56入）
理事(会報発行)	田 中 高 行（電子S57入）
理事(情報管理)	小 玉 純 士（建設S57入）
理事(会報発行)	平 尾 泰 博（生機S49入）
理事(会報発行)	瀧 上 貴由樹（都市H12入）
監事	椿 忠 彦（物理S48入）
監事	深 井 澄 夫（電子S49入）
監事	磯 野 健 一（工化S59入）
顧問	秋 永 正 幸（機械S41入）

## 第18回 菱実会総会開催

佐賀大学「菱の実会館」多目的室において9月3日(土)に平成28年度理工学部同窓会の総会を開催した。会長のあいさつの後、平成27年度事業及び決算報告があり承認された。また、平成28年度事業計画及び予算案について審議し承認された。新たに学科長推薦によらない個人応募による「菱実会賞」設けることを決定し、その表彰規定、自己推薦書の書式等を検討し詳細を決定した。

総会に先立ち、池上康之先生（S57入 生機）による「海洋エネルギーへの挑戦—海洋温度差発電と同窓会に学ぶ—」と題された講演会を開催した。



総 会



池上先生の講演会



# 第12回佐賀大学理工学部学生表彰式



平成27年度理工学部学生表彰

(敬称略)

## 表彰受賞

平成28年4月5日(火)理工学部1号館地域連携デザイン工房にて理工学部学生表彰式が行われた。

学生表彰は2年次及び3年次の学生で成績が優秀であると認められた学生に対し、各学科から2名、合わせて14名が表彰され、同窓会(菱実会)からは副賞として図書カードが贈られた。

学 科	2 年	3 年
数理工学科	平 藪 康	多々野 結 生
物理科学科	辻 茂 幸	梅 崎 英 一
知能情報システム学科	泉 武 郎	宮 崎 諒
機能物質化学科	安 永 怜 央	河 野 雅 大
機械システム工学科	花 田 裕 二	吉 島 正 朗
電気電子工学科	小 野 恭 平	田 上 昇
都市工学科	肥 田 愛 実	濱 田 恵 子

## 菱実会の動き

H28 1月 → H28 12月

- H28. 1. 1 ●理工学部同窓会会報「菱の実」No17発行
- H28. 1. 7 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(電気電子工学科) 講師2名卒業生
- H28. 1. 22 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(機械システム工学科) 講師2名卒業生
- H28. 1. 23 ○鹿児島支部会/レクストン鹿児島
- H28. 1. 23 ○唐津地区会発足総会・懇親会/志道公民館・玄洋
- H28. 1. 31 ○小城・多久地区会発足総会・懇親会/寿屋別館
- H28. 2. 18 ●理工学部同窓会「役員会」
- H28. 2. 25 佐賀大学前期日程入学試験
- H28. 3. 8 ○佐大同窓会「会報発行部会」
- H28. 3. 12 佐賀大学後期日程入学試験
- H28. 3. 19 ○熊本支部総会・懇親会/KKRホテル熊本
- H28. 3. 23 佐賀大学平成27年度学位記授与式(学部生1,305名・大学院生342名)
- H28. 3. 24 ●理工学部同窓会「臨時総会」/佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H28. 4. 1 ●理工学部同窓会「50周年記念誌編集会議」
- H28. 4. 5 佐賀大学入学式(学部生・大学院生合わせて1,723名)
- H28. 4. 5 ●理工学部在学学生表彰
- H28. 4. 6 ●理工学部同窓会「50周年記念誌編集会議」
- H28. 4. 25 ●理工学部同窓会「役員会」
- H28. 5. 20 理工学部50周年記念式典/ホテルニューオータニ佐賀
- H28. 6. 25 ○沖縄支部総会・懇親会/サザンプラザ海邦
- H28. 7. 3 ○佐大同窓会「鳥栖・基山地区会」/基山町民会館
- H28. 7. 31 ○佐大同窓会「佐賀県内地区世話人会」/佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H28. 8. 7 ○佐大同窓会「杵島地区会」/やかた
- H28. 8. 7 ○佐大同窓会「三養基地区会」/卑弥呼の湯
- H28. 8. 8 ●理工学部同窓会「役員会」/佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H28. 8. 19 ○佐大同窓会「佐賀市役所支部総会・懇親会」/マリターレ創生 佐賀
- H28. 8. 21 ○佐大同窓会「武雄地区会」/武雄 八百重
- H28. 9. 3 ●理工学部同窓会「総会・懇親会」/佐賀大学菱の実会館 多目

- H28. 9. 3 的室 懇「海人」
- H28. 9. 24 ○佐大同窓会「鹿島・嬉野・藤津地区会」/家督屋 芸術地域デザイン学部創設記念式典/ホテルニューオータニ佐賀
- H28. 10. 6 ●理工学部同窓会1回目「菱の実」No18編集会議
- H28. 10. 15 ○筑後支部総会・懇親会/ランヴィエール勝島
- H28. 10. 29 ○大分支部総会・懇親会/アリストンホテル
- H28. 11. 4 ○長崎支部総会・懇親会/ホテルニュー長崎
- H28. 11. 9 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(都市工学科) 講師2名卒業生
- H28. 11. 12 ○東京支部総会・懇親会/新橋亭
- H28. 11. 12 大学祭(本庄キャンパス)~13日
- H28. 11. 13 ○小城・多久地区会役員会/小城牛津公民館
- H28. 11. 17 ●理工学部同窓会「役員会」
- H28. 11. 19 ○第24回佐賀県青春歌祭/エスプラッツホール3F
- H28. 11. 19 ○佐世保支部総会・懇親会/レオプラザホテル
- H28. 11. 20 ○伊万里地区会/伊万里公民館
- H28. 11. 25 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(数理工学科) 講師2名卒業生
- H28. 11. 26 佐賀大学ホームカミングデー
- H28. 11. 26 ○諫早支部総会・懇親会/L&Lホテルセンリユウ
- H28. 11. 26 佐賀大学農学部収穫感謝祭/佐賀大学農場
- H28. 12. 5 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(機能物質化学科) 講師1名卒業生
- H28. 12. 7 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(機能物質化学科) 講師1名卒業生
- H28. 12. 7 ○キャリアデザイン講座/講師 立石 晴久氏(理工学部)
- H28. 12. 7 ●理工学部同窓会「第1回 菱実会賞」表彰式/授賞者 音谷 隼平氏
- H28. 12. 7 ●理工学部同窓会「理工学部との意見交換会」/佐賀大学菱の実会館 多目的室
- H28. 12. 12 ●理工学部同窓会2回目「菱の実」No1s8編集会議
- H28. 12. 16 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(物理学科) 講師2名卒業生
- H28. 12. 20 ●理工学部同窓会キャリアデザインセミナー(知能情報システム学科) 講師2名卒業生

(○印は佐賀大学同窓会、●印は理工学部同窓会、無印は佐賀大学)